

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

春

あんなに待ちわびていた桜の花は
あっという間に散ってしまったけれど
野の草むらを見てごらん
カラスノエンドウ
ハルジオン
オオイヌノフグリに
ホトケノザ
赤、白、青に、赤紫
季節をつなぐ
野の草花



思い出

子どもたちに聞かせたい ことば

「若いときに流さなかった汗は、年老いて
涙となって流れる」

大人になっていくということは、自分で
出来ることを増やしていくということ
です。また、自分以外の人のことを考える
ことが出来るようになっていくことです。

それが子どもたちに与えられた時間だと
思います。そのためには汗を流すことを惜
しんではならないと思います。

今流す汗は
きっと後の喜びに変わるはず。
涙となることはありません。

3つの0に挑戦

今年度は、子どもたち一人一人に自分の
「0の記録」に挑戦してもらうことにしま
した。

一つ目の0は、「欠席0」

二つ目の0は、「遅刻0」

三つ目の0は、「宿題忘れ0」

寒い朝、難しい宿題、くじけそうになる
ときがあるはずですが、でも、自分の心を奮
い立たせて、自分の心の弱さに打ち勝って
ほしいのです。

これが「汗をかく」ことです。

新学期が始まってまだ4日ですが、「0」
を目指して、昨年度から大変身した子ども
が何人かいます。

嬉しい新学期のスタートです。

52年前のことです。
引っ越しをしたばかりで、だれも知っ
た友だちのいない小学校の入学式に母と
二人で出かけました。

心細くて、母の手をしっかりと握って
たんぼ道を歩いて学校に向かいました。
「チョトコイ チョットコイ・・・」
って、生意気そうに鳴くコジュケイの
声を聞きながら歩きました。

所々に肥だめがあつて、学校の帰り
には絶対に近寄るまいと心に誓って歩
きました。

式が終わって教室に入っても、やっぱ
り知らない子ばかりで、その日は誰とも
一言もしゃべらずに帰りました。孤独
でした。

でも、この孤独感は3日と続きませ
んでした。学校の帰りには、近所の子と一
緒に帰るようになりしました。あの恐
れていた肥だめに、友達と一緒に近寄
って、小石を投げ込んで「トッポン！」
という音を聞くのが楽しみになって
いました。遠い昔の思い出です。

よろしくお願ひします

明日は、本校第113回目の入学式。
86人の新1年生を迎えます。全校
児童数737名。そして、全職員数54
名の体制でスタートします。

子どもたち一人一人が、明るく、たく
ましく成長するよう、全職員一丸とな
って子どもの教育に当たっていき
たいと思っています。

今年度もよろしくお願ひします。

